

おおふなと夢横丁オープニングセレモニー

にぎわい増す中心市街地

9月30日、おおふなと夢商店街の隣接地に新たに完成した飲食店街「おおふなと夢横丁」のオープニングセレモニーが開かれ、施設の完成と新店舗の開業を祝福しました。同日、おおふなと夢商店街とキャッセン大船渡では「新生おおふなとさんま祭り」が開かれ、振る舞われた焼きさんまやさんまキムチ鍋、芋の子汁といった秋の味覚を堪能する人たちににぎわいました。



おおふなと・キッズ・コレクション2018

舞台上で華麗にポージング

10月14日、リアスホールで、おおふなと・キッズ・コレクション2018が開かれました。

本年度7回目を迎えた同コレクションには、市内内外の小学1年生から6年生12人が出演。出演者は、ファッションをイメージした音楽や照明の中、和装や洋装でウォーキングやポージングを披露しました。観客席からは、出演者に大きな拍手が送られました。



(7) 広報大船渡 30.11.5(No.1138)

大船渡宇宙学校(銀河連邦交流事業)

広い宇宙を身近に感じて



10月5日、三陸公民館で市内小学校6校の5、6年生を対象に「大船渡宇宙学校」を開催しました。宇宙航空研究開発機構(JAXA)から吉田哲也教授、篠原有准教授を講師に迎え、宇宙にまつわる話をいただきました。児童たちは大気球やジオスペース探査衛星「あらせ」による宇宙研究について学んだり、宇宙誕生の謎に迫る質問をするなど、未知なる宇宙への関心と理解を深めました。

第64回大船渡市民芸術祭三陸地区文化祭

表現豊かな作品に親しむ



10月13、14日、三陸公民館で、第64回大船渡市民芸術祭三陸地区文化祭を行いました。同文化祭は、市民に広く芸術文化を感じてもらうことを目的に開催。会場には、絵画、書道、写真、文芸など9部門の作品が展示され、来場者は、趣向を凝らした作品に親しんでいました。文芸や華道部門などでは、体験コーナーが設けられ、来場者を楽しませていました。

トピックス 1

明治大学連携事業「国際理解講演会」

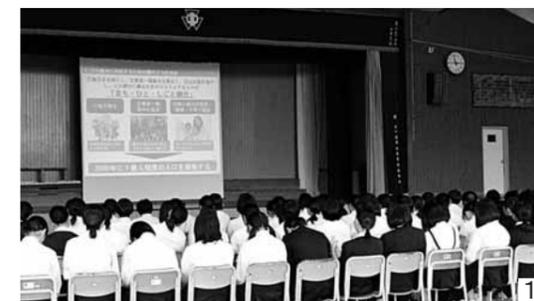
9月30日、カメラホールで、明治大学連携事業「国際理解講演会」を開催しました。

同講演会は、国際化の進展による外国人観光客や労働者などとの交流機会の増加を見据え、市民の国際理解増進を目的に行ったものです。

講師には、本市と震災復興に関する協定を締結している明治大学から、商学部専任教授のジェームズ・アンドリュー・スタンレーさんをお迎えし、「カナダ人教授が見た日本人と日本社会」と題し、来日当時の苦労や、カナダとの文化・社会の違い、特徴などをユーモアを交えて講演いただきました。



①国際理解への関心の高さがうかがえました
②大学では現代イギリス文学・英語を指導するジェームズ教授



①市の現状や取り組みについて学ぶ機会となりました
②身近な疑問など質問や意見を積極的に発言する生徒たち

トピックス 2

まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る市長講話

10月3日、第一中学校の3年生を対象に、市長講話を行いました。

この取り組みは、市内中学生に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の周知と目的意識の共有を図り、市政に関心を持ってもらおうと平成28年から実施しています。

講話では、戸田市長が人口の動向や将来の見通し、人口減少が地域に与える影響などを説明。その後、起業支援、交流人口拡大、子育て支援などの取り組みについて紹介しました。生徒たちは、真剣なまなざしで聴講し、市政に対する理解を深めていました。

トピックス 3

復興大臣視察

10月18日、渡辺博道復興大臣が本市を訪れ、防災観光交流センターを視察しました。

今回の視察は、県内沿岸地区の復興状況を確認するために行われたもので、渡辺復興大臣の本市への視察は初めてとなります。

視察では、戸田市長が同センターの屋上広場で、大船渡駅周辺地区のまちづくりについてパネルで解説。渡辺復興大臣は、キャッセン大船渡やBRT大船渡駅、防潮堤、商業施設などの街並みを眺めながら、戸田市長と復興に向けたまちづくりについて意見を交換しました。



①震災当時の写真を興味深く見学する渡辺博道復興大臣
②東日本大震災の犠牲者に黙とうをささげました

(6)